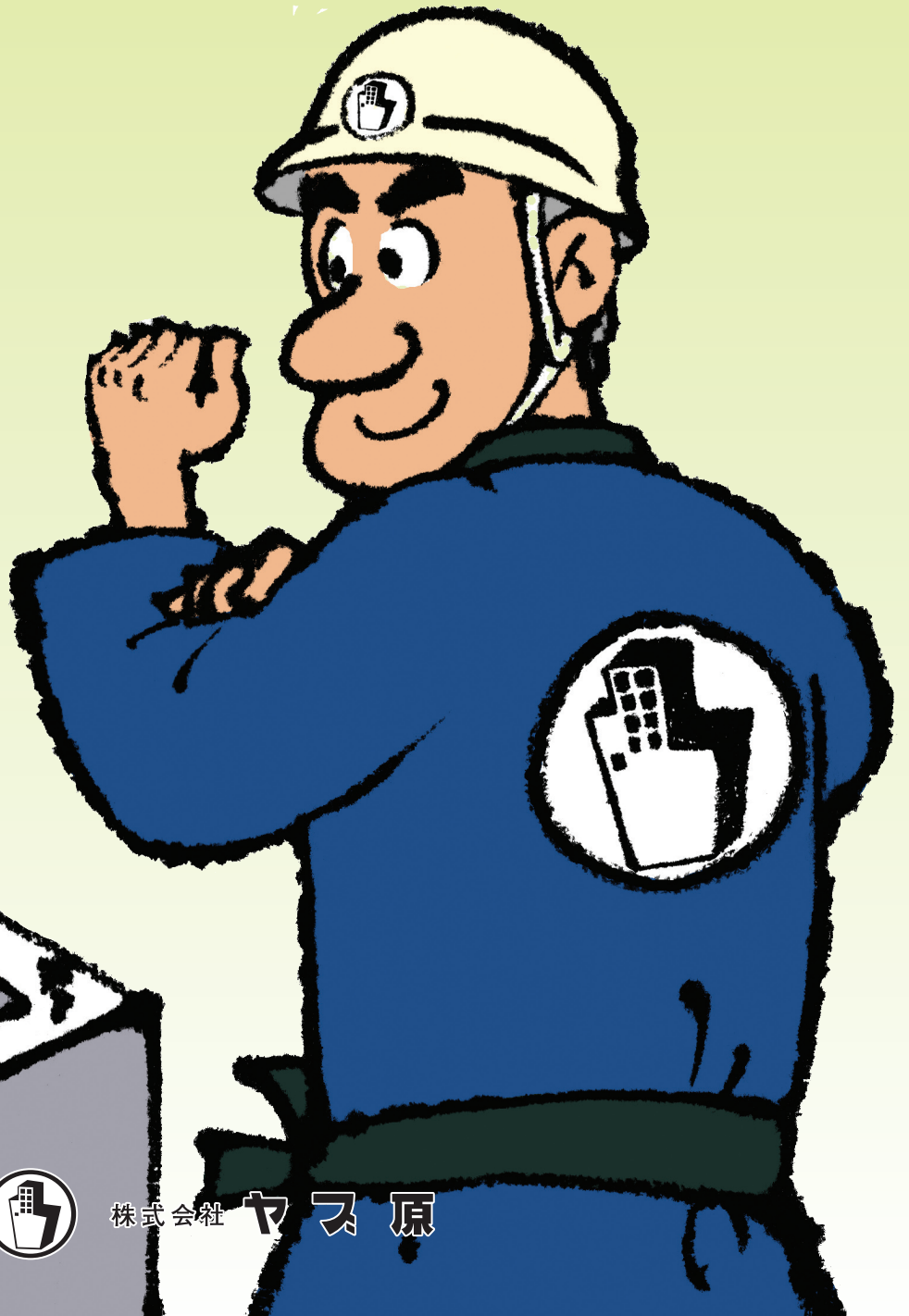


# 二代目 ビル印 天端名人

住宅基礎用セルフレベリング材

父から受け継いだ名人の技！



株式会社 ヤス原

ビル印

住宅基礎用セルフレベリング材

# 二代目天端名人



## 4つの特長

1. SL フロー値が 250 ミリ以上の高い流動性を誇っています。
2. 骨材の分離が少ないので、流し込みバケツに材料が残りやすいです。
3. 高い強度を誇っていますので、耐久性に優れています。
4. 流し込み作業がはかどり、後片付けもラクです。

## 施工手順

### 1 コンクリートの打設

バイブレーターで十分に締め固めます。  
コンクリートの表面はコテで均してください。



### 2 レベル表示

天端釘やマグネットで 50cm ~ 1m の間隔で表示します。  
端部と交差部には必ず表示します。  
レベル出しは正確に行なってください。



### 3 レイタンスを除去する

コンクリート表面の浮き水（ブリージング水）が引いたら、ハケや洗車ブラシでレイタンス（ノロ）を除去してください。  
型枠のすき間は必ずシールしてください。

ポイント





## 4 水の計量

★練り混ぜ水量は二代目天端名人 1 袋 (25kg 入り) 当たり

冬期～常温期	6.5～7L/袋
常温期～夏期	7～7.5L/袋

必ず計量バケツで計ってください。  
水が多すぎるとヒビ割れや仕上がりが不良の原因になります。少なすぎるとレベル精度が悪くなります。



## 5 練り混ぜ

高速ハンドミキサー (800rpm 以上) で3分間、練り混ぜます。  
良く練り混ぜるため、2袋までを推奨します。

ポイント



## 6 流し込み

レベル表示に従って正確に流し込みます。  
レベルが決まったら、タッピングしてください。



## 施工のポイント



- 1 夏期の施工で、コンクリートが乾きすぎたら水打ちをしてから、流し込んでください。
- 2 冬期の施工で、水が引かない場合は、(コンクリート打設から2時間以降に) スポンジで吸い取ります。
- 3 硬化したコンクリートに施工する場合は、表面のレイタンスをワイヤーブラシで良くこすって除去します。  
清掃後、スーパーペトロック 400 の3倍希釈液をハケで2回塗布します。
- 4 流し込み終了後、出来るだけ早く養生してください。

## 荷 姿

25kg/ 袋

## 注 意 事 項

- ① 5mm 以下の施工では、流れが悪くなりますので避けてください。
- ② 他社品と混合して練り混ぜないでください。
- ③ 冬期で 5℃以下になる場合は、保温処置を 1～2 日間とってください。
- ④ 防凍剤を混入するとヒビ割れの原因になる可能性があります。
- ⑤ プレミックス製品ですので、セメント、砂、薬品類は混ぜないでください。

## 取扱注意事項

- ① 本製品はセメントを基材にしており、粉塵がたち易く、強アルカリ性を有します。直接眼に入ったり、皮膚に付着すると失明や炎症を起こすことがありますので、取り扱いには保護メガネ、防じんマスク、ゴム手袋などを着用してください。皮膚に付着したときは、清水で十分に洗い落としてください。眼に入ったときは清水で十分に洗い、専門医の診察を受けてください。
- ② 本製品の施工に際しては、カタログに記載されている作業手順に従って使用してください。

\* 詳細な内容が必要な場合には、安全データシート (SDS) をご参照ください。

## 標準使用量

施工厚さ	施工長さ	
	基礎幅 12cm	基礎幅 15cm
10mm	13.3m	10.7m
15mm	8.9m	7.1m

## 物 性 値

項 目	物性値	備 考	
練り混ぜ水量 (%)	28	水 / 試料	
フロー値 (mm)	252	公団試験方法に準じる	
練り混ぜ時の単位容積重量 (kg/L)	2	JIS A 1116 に準じる	
凝結時間 (時間 - 分)	始発	5-30	JIS R 5201 に準じる
	終結	7-00	
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	7 日	17.8	JIS R 5201 に準じる
	28 日	28.5	
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	7 日	1.6	建研式付着試験器プライマー有り

このデータは当社の試験結果に基づいたものであり代表値です。  
品質保証値ではありません。



建材の総合商社

# ヤブ原

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4

<http://www.yabuhara.co.jp/> ☎ info@yabuhara.co.jp

- 東京支店 ☎03-3552-4315 FAX 03-3553-1063
- 北関東支店 ☎0480-58-6311 FAX 0480-58-2556
- 南関東支店 ☎042-700-1200 FAX 042-770-1710
- 仙台支店 ☎022-298-6165 FAX 022-299-6546